# 宮崎県内のみなとオアシス

KYUSHU MINATO OASIS

## みなとオアシス 北浦臨海パーク（古江港）



「みなとオアシス北浦臨海パーク」は、宮崎県北部の古江港にあります。
　古江港は、延岡市の北の玄関口でもあることから、「みなとオアシス北浦臨海パーク」では延岡市観光の拠点として、市内全域に周遊を促すよう、市内の観光情報を発信しています。
　また、季節毎の豊富な魚介とマリンレジャーも楽しむことができる「みなとオアシス」です。




KYUSHU MINATO OASIS

## みなとオアシス ほそしま（細島港）



「みなとオアシスほそしま」は、宮崎県北部の細島港にあります。
細島港は、九州の東側中央部に位置し、古くから海上交通の要衝、地域開発の中核として重要な役割を果たしてきました。
　現在は港の機能の集約化が進んでおり、「みなとオアシスほそしま」がある商業港地区を中心として、港を核とした地域づくりの活動が盛んな地域となっています。
　構成施設である「海の駅ほそしま」や「かき寧」を中心に「細島みなと祭り」や「日向みなと・夢・みらい花火大会」といった各種イベントが開催されています。
また、「馬ケ背」や「クルスの海」等の観光名所への玄関口ともなっています。




KYUSHU MINATO OASIS

## みなとオアシス 油津（油津港）

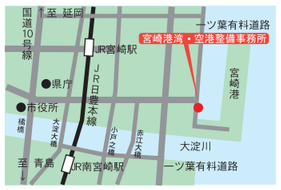


「みなとオアシス油津」は、宮崎県南部の油津港にあります。
　油津港は、風光明媚な日南海岸に位置する天然の良港で、江戸時代に飫肥藩主により堀川運河が開かれ、飫肥杉等の地産物の積み出し港として繁栄し、また漁港としても昭和初期には東洋一のマグロ基地として発展しました。
　当時の街並みが残る堀川地区においては、クルーズ船寄港時におけるおもてなしや堀川運河の周辺施設を生かした地域振興の取り組みが行われており、歴史的な景観を楽しむことができる観光地としてにぎわっています。






**宮崎港湾・空港整備事務所**
〒880-0858 宮崎市港１丁目16番地
TEL.0985-25-5375






**細島港分室**
〒883-0062 日向市大字日知屋字新開17371-1
TEL.0982-52-5303






**宮崎空港分室**
〒880-0912 宮崎市大字赤江無番地




国土交通省 九州地方整備局 宮崎港湾・空港整備事務所

ホームページ
https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/

【ホームページ】

令和8年4月

# 国土交通省 九州地方整備局
# 宮崎港湾・空港整備事務所

# 業　務　概　要











Growing Together with East Asia Through The Port of Miyazaki







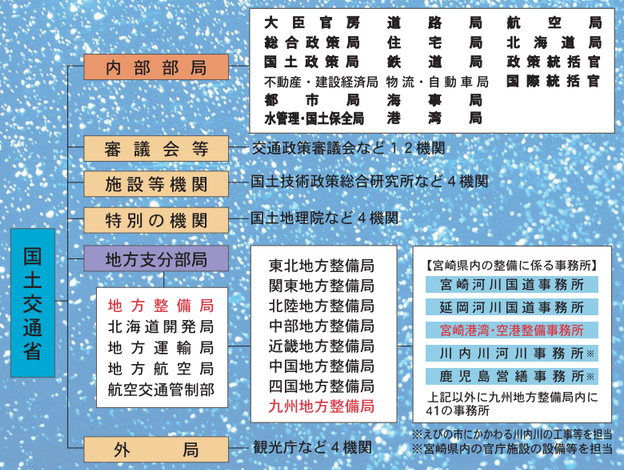
# 魅力にあふれる住みよい「みやざき」
# 東アジアの時代にはばたくみなとづくり



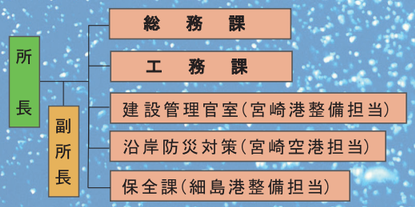




## 国土交通省 及び 九州地方整備局組織図




## 宮崎港湾・空港整備事務所




九州地方整備局は、港湾・空港・河川・道路・営繕・公園といった地域の発展のために不可欠な社会資本の整備を総合的に推進し魅力ある地域づくりを行っていきます。

## 目　次

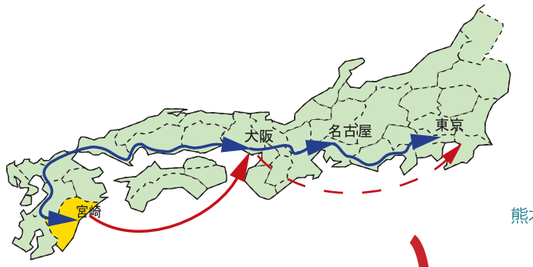

宮崎県の港湾と空港 1
宮崎県の取扱貨物量 2・3
細島港 防波堤整備・岸壁整備 4・5
宮崎港 防波堤整備 6・7
細島港 8・9
宮崎港 10・11
油津港 12・13
宮崎空港 14・15
建設コスト縮減への取り組み 16


## 宮崎県の港湾と空港

宮崎県の港湾は太平洋に直接面しており、近畿・中国・四国と東南アジアを結ぶ航路の途中にあり輸入でFirst Port、輸出でLast Portとなります。

また、九州の中で海路は最も首都圏に近く、関西圏、中部圏にもアクセスしやすい位置にあり今後、道路網（東九州自動車道等）の充実により背後圏が更に拡大します。

宮崎県の港湾・空港は、重要港湾３港、地方港湾12港、56条港湾１港、合計16港と宮崎空港から構成されています。







【凡　例】
- 重要港湾
- 地方港湾
- 56条港湾
- 空　港
- みなとオアシス

国土開発幹線自動車道
- 開通区間
- 事業中区間
- 未事業区間

## 宮崎県の概要

◎県 全 体　人口 1,017,134 人 (R7.10月時点)
　面積 7,734.24 ㎢
◎平均気温　18.4℃　（全国4位）
◎日照時間　2,213時間　（全国19位）
◎降 水 量　3,003mm　（全国1位）
資料：宮崎県ホームページ統計データ(R5年)

### ● 都市との時間距離

**海路［フェリー利用］**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 宮崎（カーフェリー） | 495 km | 12時間20分 | 神戸 |
| 宮崎（RORO船） | 494 km | 20時間 | 大阪 |
| 宮崎（RORO船） | 872 km | 36時間 | 東京 |
| 宮崎(日向)（RORO船） | 457 km | 14時間30分 | 大阪 |
| 宮崎(日南)（RORO船） | 974 km | 25時間 | 東京 |

**空港［季節により便数に変更がある］**

宮崎
- 約90分（18往復）東京（羽田・成田）
- 約75分（３往復）名古屋（中部）
- 約65分（12往復）大阪（伊丹・関西）
- 約40分（13往復）福岡
- 約85分（１往復）沖縄（那覇）
- 約90分（週３往復）韓国（ソウル）
- 約120分（週１往復）台湾（台北）

**高速バス**

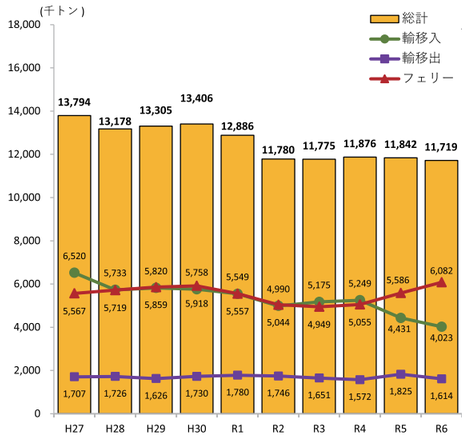
宮崎
- 約4時間19分（21往復）福岡(博多・天神)
- 約5時間17分（2往復）※季節運行 長崎
- 約3時間23分（10往復）熊本
- 約2時間15分（15往復）新八代(B&S)
- 約2時間40分（休止中）高千穂

**鉄道**

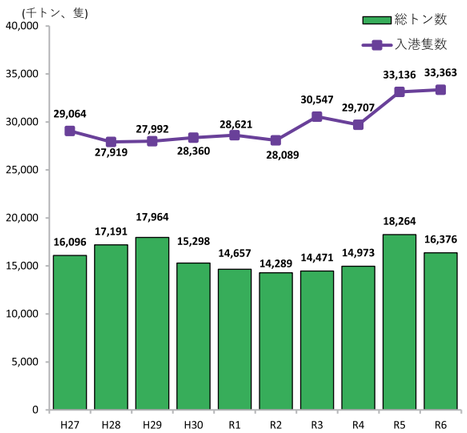
宮崎
- 415km 約３時間15分 福岡(B&S)
- 340km 約４時間27分 小倉
- 207km 約２時間59分 大分
- 126km 約２時間８分 鹿児島中央

# 宮崎県の取扱貨物量

## 【宮崎県の取扱貨物量の推移】



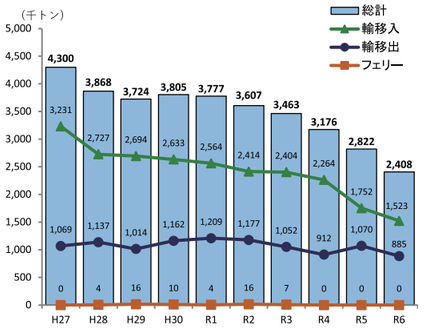

## 【宮崎県の入港船舶の推移】



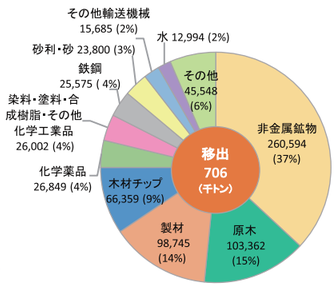

※数値は全て確定値

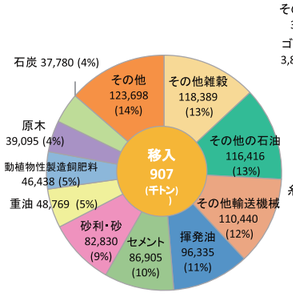
## 細 島 港

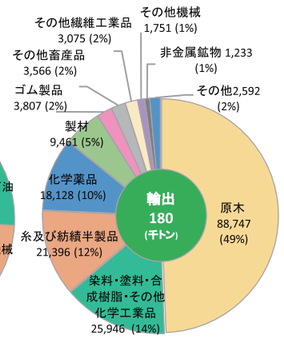
### 【取扱貨物量の推移】

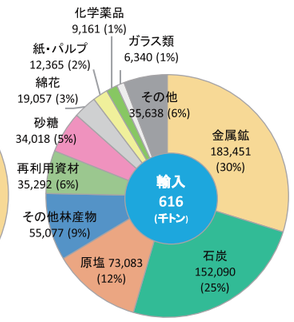



### 【令和 6 年 品目別取扱貨物シェア】

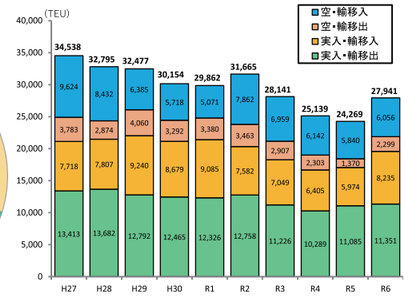



### 【コンテナ取扱量の推移】




## 宮 崎 港

### 【取扱貨物量の推移】




### 【令和 6 年 品目別取扱貨物シェア】
















## 油 津 港

### 【取扱貨物量の推移】




### 【令和 6 年 品目別取扱貨物シェア】













### 【コンテナ取扱量の推移】

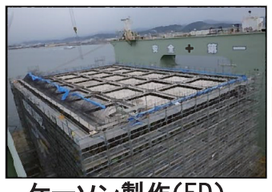
# ○ 細島港外港地区防波堤整備事業

◆目的

細島港は、太平洋に直接面しているためうねり等の影響を受けやすく、大型貨物船の係留時の動揺が激しいときは、荷役時に船舶と岸壁が接触したりして安全な荷役ができないため、沖合で待機するなどの被害が発生していました。本事業では、細島港内のうねりに対する静穏度を確保することにより、荷役の稼働率を上げ、コンテナ船等の入出港の定時制確保、荷役作業時の安全性・効率性の向上等を図るために防波堤を整備するものです。




## 【 防波堤整備フロー 】



ケーソン製作(FD)

※FD(フローティングドック)とは
船内タンクに注排水することにより、
沈下、浮上できる浮きドックです。



ケーソン曳航



ケーソン据付



上部コンクリート打設



ブロック製作



ブロック運搬



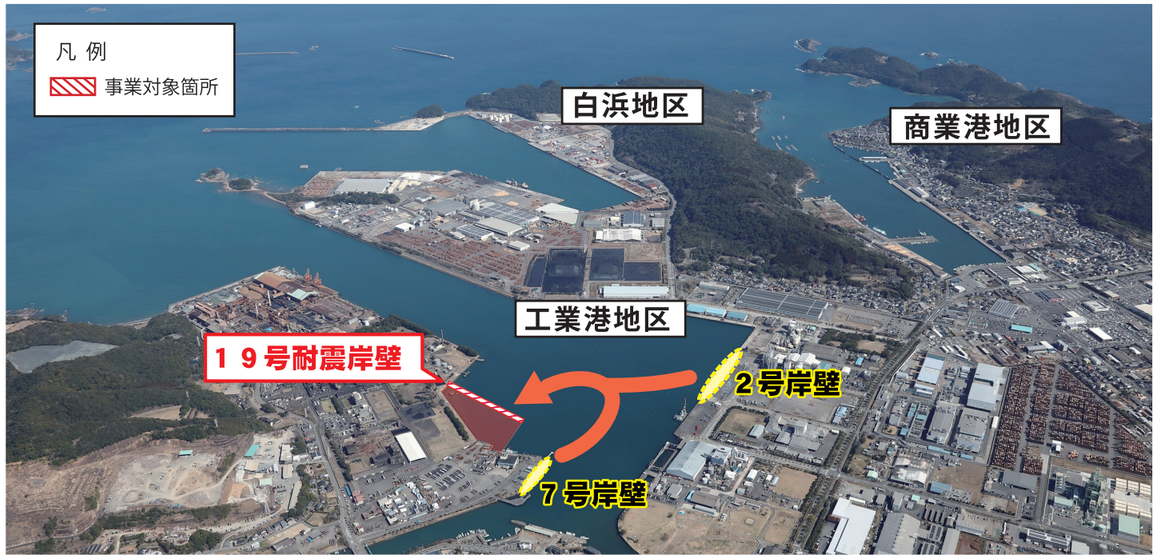
ブロック据付



# ○ 細島港工業港地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

◆目的

細島港工業港地区の全ての係留施設は、建築後50年が経過し耐震性も確保されていない状況です。
また、背後ふ頭用地が狭隘であるため、背後企業の増産に伴う貨物需要への対応が必要になっています。
本事業は、これらの課題に対応するためRORO船の喫水調整の解消や、大型新造船の就航を可能とする新たな岸壁の整備を行うものです。RORO船の活用により、無人の海上輸送が可能となることで、働き方改革関連法案によるトラックドライバーの時間外労働時間制限への対応が可能となるため、労働環境の向上も図られます。




## ７号岸壁(利用状況)










## 19号岸壁(工事中)







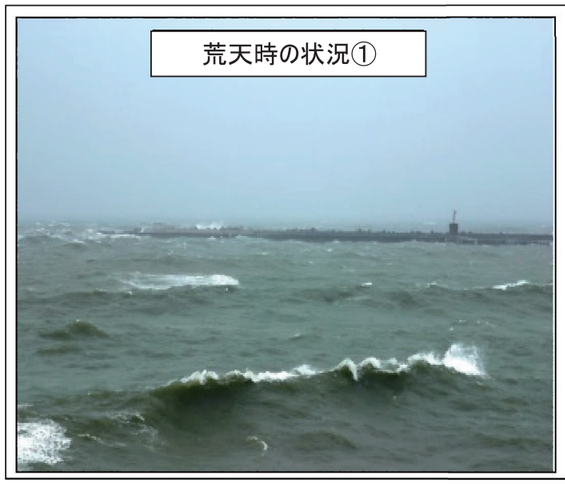


# ○ 宮崎港東地区防波堤整備事業

◆目　的

宮崎港は、太平洋に面しているため、波浪の影響により港内の静穏度が不足し、船舶の安全な入出港が困難な港でした。本事業では、荷役稼働率の向上、入出港時における船舶の安全性の向上を図ることにより、農畜産物や産業関連貨物の安定的、効率的な輸送体系の構築を図るために防波堤を整備するものです。







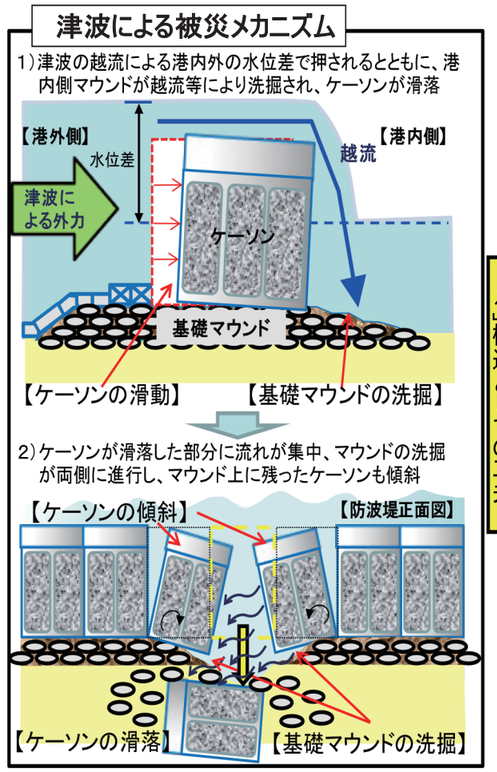
# 【 防波堤改良（粘り強い化）整備フロー 】


アスファルトマット敷設

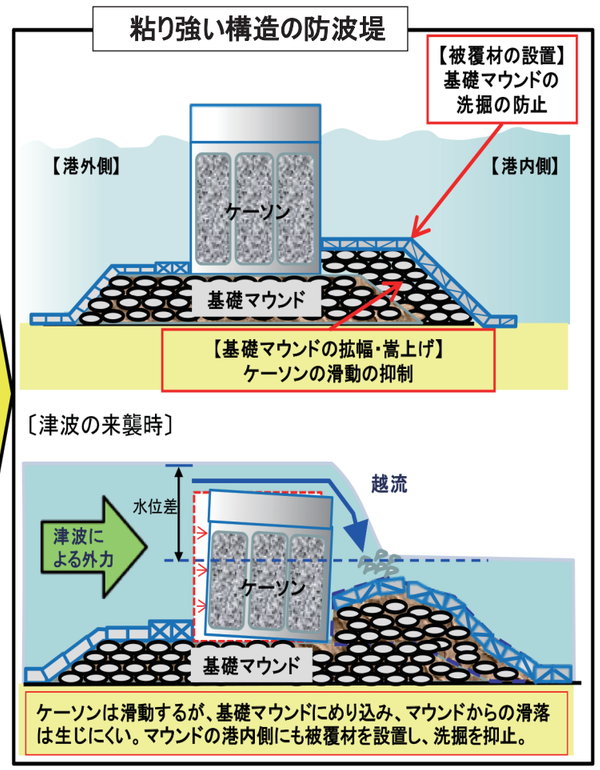

ブロック製作

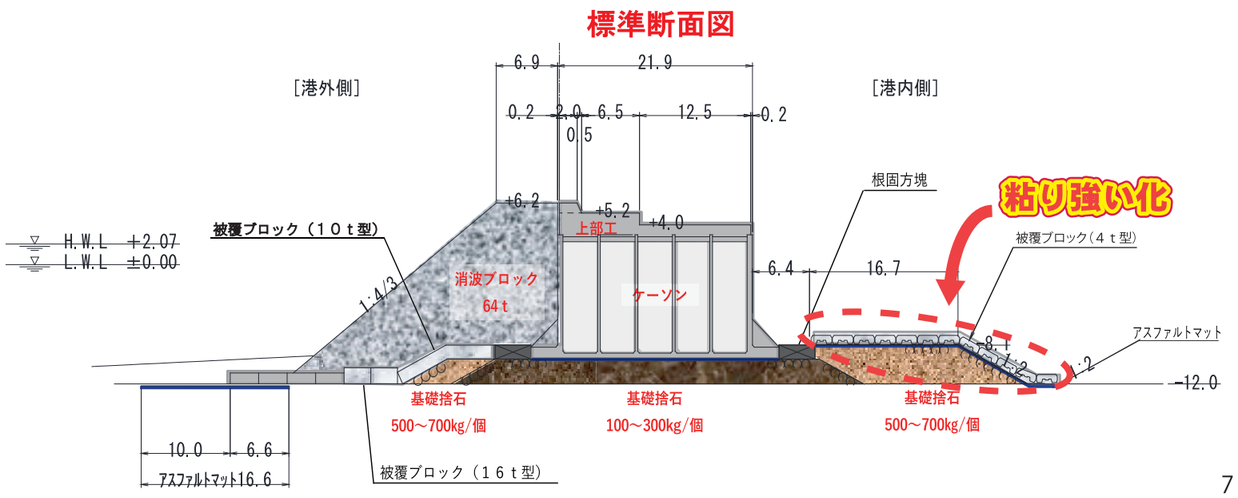

ブロック運搬


ブロック据付




「粘り強く持ちこたえる」構造としての工夫



# 細島港

## 細島港の概要

| | | |
|---|---|---|
| ◎所在地 | 日向市 | |
| ◎港湾区域告示 | 昭和28年3月 | |
| ◎港湾区域面積 | 1,289ha | |
| | 昭和26年1月 | |
| ◎入港船舶数 | 3,788隻(R6) | |
| ◎入港船舶総トン数 | 4,373千トン(R6) | |
| ◎取扱貨物量 | 2,408千トン(R6) | |
| | 〔うち外貨物 795千トン〕 | |

宮崎県北部の日向市に位置する細島港は、古くから東九州の海上交通の要衝として栄え、明治時代には、四国・阪神方面との定期航路が開設されて以来、港湾の利用が増加しました。

昭和26年に重要港湾の指定を受け、工業港地区を中心に臨海工業用地の造成や港湾の整備が進められました。昭和39年には日向・延岡地区が新産業都市の指定を受け、地域の産業を支援する流通拠点として発展してきました。

最近では、国際定期コンテナ航路や関東関西とのＲＯＲＯ船航路が開設されるなど国内外の港湾を結ぶ海上輸送のネットワークの充実が図られています。また、平成２８年２月に計画改訂し、さらには令和３年３月、地域の産業をさらに支援していくため水深９m、水深７．５mの 複合一貫輸送ターミナルなどを港湾計画へ位置付けました。

細島港周辺では九州中央自動車道 の高速道路の整備も進展しており、今後さらなる物流機能の強化を図ることにより、新たな国際港を目指しています。

## ●細島港からの定期航路ネットワーク




【令和7年4月時点】

## 細島港港湾計画（平成28年2月改訂）（令和3年3月一部変更）

- ○ 地域産業の発展を支えていく物流・生産の一大拠点づくり
- ○ 災害に強く、市民の暮らしと企業活動を支える防災拠点づくり
- ○ 豊かな地域資源を生かした県北地域の交流拠点づくり

## ●係留施設（公共）

| | 地区名 | 施設名 | 水深（m） | 延長（m） | 船型（D／W） | バース数 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設 | 工業港 | ①工業港１号岸壁 | −10.0 | 140 | 10,000 | 1 | S38 |
| | | ②工業港２号岸壁 | −10.0 | 220 | 10,000 | 1 | S45 |
| | | ③工業港３号岸壁 | −5.5 | 180 | 2,000 | 2 | S40 |
| | | ④工業港４号岸壁 | −5.5 | 180 | 2,000 | 2 | S40 |
| | | ⑤工業港５号岸壁 | −7.5 | 130 | 5,000 | 1 | S45 |
| | | ⑥工業港６号岸壁 | −10.0 | 185 | 10,000 | 1 | S45 |
| | 白　浜 | ⑧工業港８号岸壁 | −5.5 | 90 | 2,000 | 1 | S53 |
| | | ⑨工業港９号岸壁 | −7.5 | 260 | 5,000 | 2 | S53 |
| | | ⑩工業港10号岸壁 | −10.0 | 185 | 10,000 | 1 | S55 |
| | | ⑪工業港11号岸壁 | −6.5 | 110 | 3,000 | 1 | H27 |
| | | ⑫工業港12号岸壁 | −4.5 | 180 | 700 | 3 | S57 |
| | | ⑬工業港13号岸壁 | −5.5 | 180 | 2,000 | 2 | S57 |
| | | ⑭工業港14号岸壁 | −13.0 | 260 | 40,000 | 1 | H11 |
| | | ⑮工業港15号岸壁 | −7.5 | 130 | 5,000 | 1 | H12 |
| | | ⑯工業港16号岸壁 | −10.0 | 170 | 12,000 | 1 | R6 |
| | | ⑰工業港17号岸壁 | −13.0 | 260 | 40,000 | 1 | H26 |
| | 商業港 | ②商業港２号岸壁 | −7.5 | 250 | 5,000 | 2 | H8 |
| | | ③商業港３号岸壁 | −4.5 | 540 | 700 | 9 | H13 |
| | | ④商業港４号岸壁 | −4.5 | 180 | 700 | 3 | H4 |
| 計画 | 工業港 | ⑱工業港18号岸壁 | −15.0 | 300 | 70,000 | 1 | |
| | | ⑲工業港19号岸壁 | −9.0 | 240 | 13,000(GT) | 1 | |
| | | ⑳工業港20号岸壁 | −7.5 | 180 | 5,000(GT) | 1 | |
| | | ㉑工業港21号岸壁 | −4.5 | 110 | 200(GT) | 2 | |

# 宮崎港

県都宮崎市に位置する宮崎港は、フェリー輸送による内貿貨物を中心に港湾取扱貨物量が県内一を誇る港です。
戦後、高度経済成長により宮崎市の経済・文化が発展するに伴い港湾整備が強く望まれた宮崎港は、昭和48年４月に重要港湾の指定を受け、以後、本格的な港湾整備を進めてきました。
本港は南九州における物流拠点の内貿ユニットロードに対応できる岸壁の整備、流通機能の充実および海洋性リゾートの核なる21世紀の港づくりを目指していきます。

## 宮崎港の概要

| | |
|---|---|
| ◎所在地 | 宮崎市 |
| ◎港湾区域告示 | 昭和38年6月 |
| ◎港湾区域面積 | 1,983ha |
| ◎重要港湾指定 | 昭和48年4月 |
| ◎入港船舶数 | 2,804隻(R6) |
| ◎入港船舶総トン数 | 6,682千トン(R6) |
| ◎取扱貨物量 | 7,725千トン(R6) |
| | 〔うち外貨物83千トン〕 |

## ●宮崎港からの定期航路ネットワーク




【令和７年４月時点】

## ●宮崎港からの新規航路




## ●係留施設（公共）

| 地区名 | | 施設名 | 水深（m） | 延長（m） | 船型（D／W） | バース数 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設 | 西 | ① 第１岸壁 | −4.5 | 120 | 700 | 2 | S44 |
| | | ② 第２岸壁 | −5.5 | 270 | 2,000 | 3 | S46 |
| | | ⑤ 第５岸壁 | −7.5 | 260 | 5,000 | 2 | S51 |
| | | ⑦ 第７岸壁 | −7.5 | 194 | 6,000(GT) | 1 | H1 |
| | | ⑩ 第10岸壁 | −9.0 | 198 | 10,000(GT) | 1 | H5 |
| | | ⑪ 第11岸壁 | −9.0 | 300 | 50,000(GT) | 1 | H8 |
| | 東 | ⑥ 第６岸壁 | −4.5 | 420 | 700 | 7 | S53 |
| | | ⑨ 第９岸壁 | −5.5 | 400 | 2,000 | 4 | H6 |
| | | ⑫ 第12岸壁 | −7.5 | 390 | 5,000 | 3 | H9 |
| | | ⑬ 第13岸壁 | −9.0 | 210 | 10,000 | 1 | H10 |
| 計画 | 東 | ⑭ 第14岸壁 | −9.0 | 160 | 10,000 | 1 | |
| | | ⑮ 第15岸壁 | −12.0 | 240 | 30,000 | 1 | |
| | | ⑯ 第16岸壁 | −9.0 | 320 | 10,000 | 2 | |

## 宮崎港港湾計画（平成15年３月改訂）

〇新たな外貿物流機能の強化
〇南九州地域の物流拠点として内貿ユニットロードターミナル機能の強化
〇既存ふ頭再編等によるふ頭の効率性、利便性等の向上
〇港内の静穏と船舶航行の安全性を確保
〇人々が港や海に親しめる親水空間の確保
〇背後地域との円滑な輸送体系の確保
〇漁船、遊漁船等の適切な収容を図るため小型船だまりの整備
〇安全で安心な港づくりを目指し耐震強化施設等の充実

# 油津港

宮崎県南部の日南市に位置する油津港は、昭和27年２月に重要港湾の指定を受けました。その後、港湾計画が策定され、岸壁や臨港道路・防波堤等整備、石油基地の造成や堀川運河の環境整備が実施されました。

その後、貨物量の増大や船舶の大型化に対応した港湾機能の整備が進められ、近年では、平成９年10月に無線検疫対象港の指定を受け、平成10年９月には東地区に水深12mの岸壁が完成し、さらに平成12年４月には植物検疫港の指定を受けるなど、ハード・ソフト両面での充実が図られています。

現在、関東・関西との国内定期貨物航路（**神戸フィーダーを含む**）が 開設されるなど、県南地域における物流拠点としてのさらなる発展が期待されています。

## 油津港の概要

| | |
|---|---|
| ◎所在地 | 宮崎市 |
| ◎港湾区域告示 | 昭和38年6月 |
| ◎港湾区域面積 | 1,983ha |
| ◎重要港湾指定 | 昭和48年4月 |
| ◎入港船舶数 | 2,166 隻(R6) |
| ◎入港船舶総トン数 | 4,614 千トン(R6) |
| ◎取扱貨物量 | 937 千トン(R6) |
| | 〔うち外貨物524千トン〕 |

●油津港からの定期航路ネットワーク




【令和7年4月時点】

## 油津港港湾計画（平成19年11月改訂）（令和4年3月一部変更）

○地域の産業を支える外・内貿物流機能の強化
○既存埠頭再編成等による埠頭利用の効率性、利便性等の向上
○港内の静穏と船舶航行の安全性を確保
○人々が港や海に親しめる親水空間の確保
○漁船、漁遊船等の適切な収容を図るため小型船だまりの整備
○安全で安心な港づくりを目指し耐震強化施設等の充実

●係留施設（公共）

| | 地区名 | 施設名 | 水深（m） | 延長（m） | 船型（D／W） | バース数 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設 | 東地区 | ①第１岸壁 | −5.0 | 70 | 1,000 | 1 | S47 |
| | | ②第２岸壁 | −7.5 | 130 | 5,000 | 1 | S47 |
| | | ③第３岸壁 | −5.0 | 70 | 1,000 | 1 | S46 |
| | 大節地区 | ⑤第５岸壁 | −5.5 | 194 | 2,000 | 2 | S42 |
| | | ⑥第６岸壁 | −7.5 | 150 | 5,000 | 1 | S42 |
| | | ⑦第７岸壁 | −7.5 | 152 | 5,000 | 1 | S37 |
| | | ⑧第８岸壁 | −6.6 | 102 | 3,000 | 1 | S15 |
| | 漁港地区 | 第１岸壁 | −5.0 | 450 | 1,000 | 5 | S54 |
| 計画 | 東地区 | ⑨第９岸壁 | −10.0 | 240 | 13,000（GT） | 1 | |
| | | ⑩第10岸壁 | −12.0 | 260 | 50,000 | 1 | |
| | 西地区 | ⑫第12岸壁 | −5.5 | 200 | 2,000 | 2 | |

# 宮崎空港




宮崎空港は、日向灘に面し、宮崎市街地より南に約7kmに位置し、観光宮崎の空の玄関口として活躍しています。

この空港は、昭和18年に旧海軍によって建設されましたが、戦後、昭和29年に国立航空大学校の訓練飛行場として再開され、昭和31年から公共用飛行場となりました。

平成２年には、滑走路を2,500mに延長整備し、平成６年からは、空港へのアクセス改善を目的とした鉄道乗入れのための整備に着手し、平成８年７月に連絡鉄道が開業されました。

**その後**、国際線ターミナルの増築やCIQ施設の設置など充実が図られ**ました。**

令和７年３月撮影

**基本施設**

| | |
|---|---|
| 管理面積 | 177ha |
| 着陸帯 | 2,620m×300m |
| 滑走路(R/W) | 2,500m×45m |
| 誘導路(T/W) | 2,737m×23m～34m |
| エプロン(A/P) | 大型ジェット機6バース<br>中型ジェット機1バース<br>小型ジェット機3バース |
| 駐車場 | 30,316㎡(1,075台) |



## 宮崎空港連絡鉄道

ＪＲの空港乗入れは、全国の地方空港では初めてであり、宮崎駅までの所要時間は約10分、日向市駅までの所要時間は約55分です。

宮崎空港連絡鉄道（平成８年７月開通）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 福岡空港 | (地下鉄) | 5分 | 博多駅 |
| 宮崎空港 | (JR) | 10分 | 宮崎駅 |
| 北九州空港 | (バス) | 35分 | 小倉駅 |
| 鹿児島空港 | (特急バス) | 40分 | 鹿児島中央駅 |
| 長崎空港 | (リムジンバス) | 45分 | 長崎駅 |
| 大分空港 | (リムジンバス) | 55分 | 大分駅 |
| 宮崎空港 | (JR) | 55分 | 日向市駅 |
| 熊本空港 | (リムジンバス) | 60分 | 熊本駅 |

## 宮崎空港　ルーフ整備事業



駐車場から空港ビルまでの連絡ルートにルーフを設置（バリアフリー）



歩道部のバリアフリー化

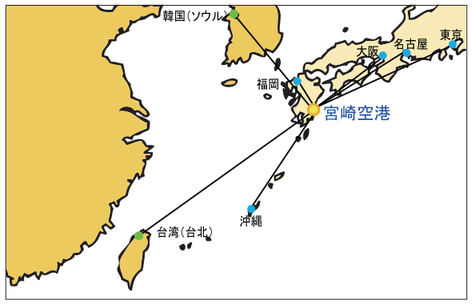


高齢者・乳幼児連れ家族用駐車帯の設置(全国初)



大型バス乗降場所にルーフを設置

## ●宮崎空港からのアクセス




## 【国内定期航空便】

| 路線 | 東京（羽田） | 東京（成田） | 名古屋（中部） | 大阪（伊丹） | 大阪（関西） | 福岡 | 沖縄（那覇） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 所要時間（分） | 90 | 105 | 75 | 60 | 65 | 40 | 85 |
| 便数（往復/日） | 17 | 1 | 3 | 11 | 1 | 13 | 1 |
| 航空会社 | ANA<br>JAL<br>SNJ | JJP | ORC<br>SNJ<br>ANA | ANA<br>JAL | APJ | ANA<br>JAL<br>ORC | SNJ<br>ANA |

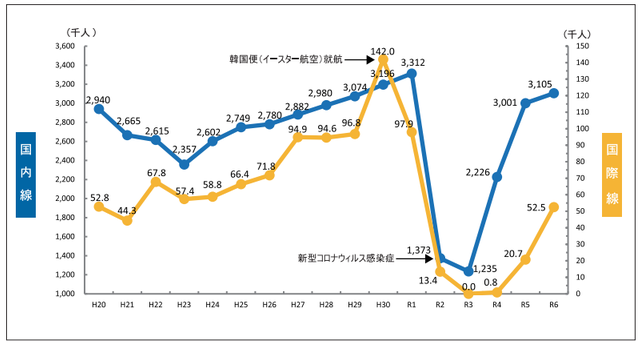
ANA … 全日空　　JAL … 日本航空
SNJ … ソラシドエア　　ORC … オリエンタルブリッジ
APJ … Peach・Aviation　　JJP … ジェットスター

## 【国際定期航空便】

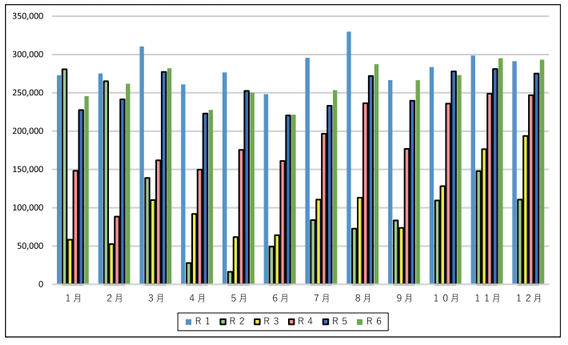
| 路線 | 韓国（ソウル） | 台湾（台北） |
|---|---|---|
| 所要時間（分） | 90 | 120 |
| 便数（往復/週） | 3（水、金、日） | 2（月、金） |
| 航空会社 | アシアナ航空 | タイガーエア台湾 |

（国内線、国際線ともに令和7年12月時点）

## 【乗降客推移】



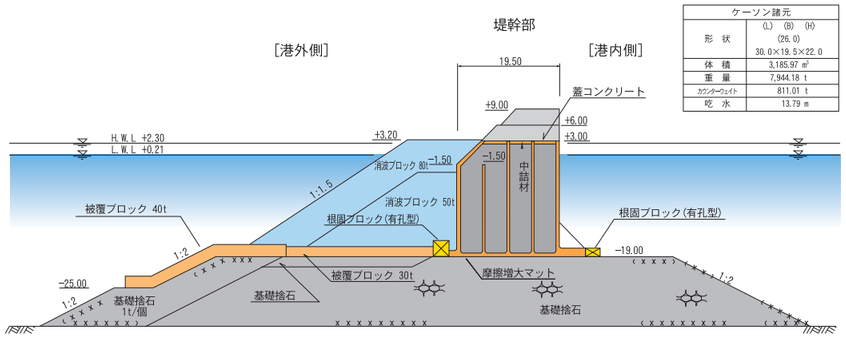

## 【宮崎空港利用者数推移】



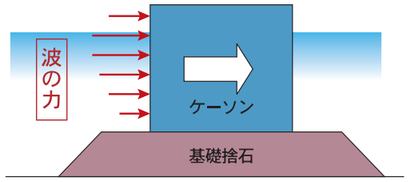
## 建設コスト縮減への取り組み

〔細島港外港地区 南沖防波堤〕

### 新形式防波堤（半没水型上部斜面堤）によるケーソン構造の小型化

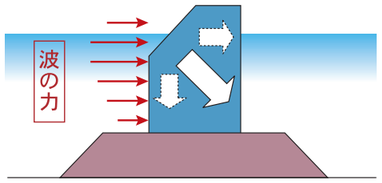



消波ブロック被覆上部斜面堤　標準断面図




**一般的構造ケーソン**

波力によるケーソンの滑動を防ぐ為に堤体（ケーソン）断面が大きくなる。




**新形式ケーソン**

堤体（ケーソン）上部を斜面にすることで、水平波力の低減及び船直下向き波力の効果によりケーソン断面の縮小が図れる。

## 出前講座の実施

### みなさんの地域に伺いお話させていただきます

九州地方整備局の職員が依頼のあった地域に伺い施策内容や方向性について講演を行うとともに地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき行政に反映させていきます。

［問い合わせ先］
宮崎港湾・空港整備事務所 総務課
**TEL 0985-25-5375**

## 海とみなとの相談窓口

九州地方整備局では、海やみなとに関する地域からの様々なご相談に応じ、地域に密着した行政を展開していくため、地方整備局港湾空港部と出先事務所の中に『海とみなとの相談窓口』を設置することといたしました。

『海やみなとの相談窓口』は、海とみなとに関する総合的な相談窓口として、次のようなご相談に応じます

### 【対応する相談内容】

- 海やみなとの利用に関する相談
- 「総合的な学習の時間」に関する相談
- みなとまちの活性化やウォーターフロントに関する相談
- 海やみなとでの自然再生や緑地の維持管理に関する相談
- みなとの構想や計画に関する相談
- 海での自然体験、環境学習に関する相談
- 海洋土木技術に関する相談
- みなとの防災に関する相談
- その他の海とみなとに関する相談

『海やみなとの相談窓口』
全国共通フリーダイヤル
おーいに　よくなれみなと
**0120-497-370**
［受付時間］
9:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝祭日を除く）※一部の地域を除きます



## 沿　革

### 宮崎港

- ●昭和48年 4月　重要港湾に指定・事務所開設
- ●昭和55年 12月　漁業補償調印
- ●昭和61年 3月　防波堤(北)完成
- ●昭和62年 6月　宮崎港 水門開通
- ●平成２年 3月　フェリー岸壁(-7.5m) フェリーターミナルビル完成
- ●平成２年 4月　フェリー(大阪航路)就航
- ●平成７年 7月　みやざき臨海公園「サンビーチーツ葉」南ビーチオープン
- ●平成８年 3月　防波堤(内)完成
- ●平成13年 7月　みやざき臨海公園「サンマリーナ宮崎」オープン
- ●平成13年 10月　RORO船(大阪)就航
- ●平成15年 3月　港湾計画改訂
- ●平成18年 7月　みやざき臨海公園「サンビーチーツ葉」北ビーチオープン
- ●平成20年 5月　フェリー岸壁(-7.5m)(改良)完成【耐震強化岸壁】
- ●平成26年 10月　フェリー(神戸航路)就航 (大阪航路からの変更)
- ●令和７年 2月　RORO船(東京)就航

### 細島港

- ●昭和24年 6月　細島港開港
- ●昭和26年 1月　重要港湾に指定
- ●昭和35年　1万トン公共岸壁着手(43年完成)
- ●昭和39年　開港第１船として中国船入港
- ●昭和43年 10月　外材輸入指定港となる
- ●昭和46年 5月　特定港に指定
- ●平成５年 12月　韓国との定期コンテナ船の航路開設
- ●平成９年 7月　港湾計画改訂
- ●平成12年 8月　白浜地区14号岸壁(-13m) 供用開始
- ●平成13年 6月　外港地区南沖防波堤着工
- ●平成13年 10月　RORO船(大阪)就航
- ●平成25年 10月　中国との定期コンテナ船の航路開設
- ●平成27年 6月　白浜地区17号岸壁(-13m) 供用開始
- ●平成28年 1月　ポート・オブ・ザ・イヤー2015受賞
- ●平成28年 2月　港湾計画改訂
- ●平成29年 7月　「みなとオアシスほそしま」登録

### 宮崎空港

- ●昭和18年 12月　旧海軍飛行基地として建設
- ●昭和29年 10月　全国唯一の国立航空大学校の訓練飛行場として開校
- ●昭和36年 5月　第二種空港に指定
- ●平成元年 7月　東京線ダブルトラッキング化
- ●平成２年 3月　滑走路を2,500m延長 宮崎空港ターミナルビル完成
- ●平成８年 7月　宮崎空港連絡鉄道開業
- ●平成９年 12月　年間乗降客数が初めて350万人を突破
- ●平成11年 2月　国際線施設開設
- ●平成13年 4月　ソウル一宮崎線開業
- ●平成15年 3月　身体障害者用駐車帯ルーフ完成 高齢者・乳幼児連れ家族用駐車帯の設置
- ●平成20年 6月　台北一宮崎線開設
- ●平成26年 10月　宮崎空港開港60周年、愛称として「宮崎ブーゲンビリア空港」命名
- ●平成27年 3月　香港一宮崎線開設

### 【宮崎港の整備状況】


昭和36年

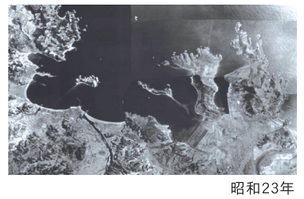

昭和46年

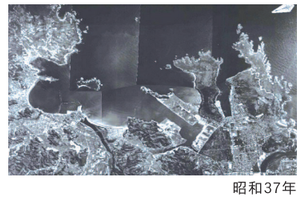

昭和61年


昭和63年


令和７年

### 【細島港の整備状況】


昭和23年


昭和37年


昭和62年


令和７年

### 【宮崎空港の整備状況】


昭和37年
A滑走路1,500m　B滑走路1,360m
〔昭和37年９月撮影〕


昭和41年
A滑走路1,800m　B滑走路1,360m
〔昭和44年９月撮影〕


昭和54年
A滑走路1,900m　B滑走路1,360m
〔昭和54年10月撮影〕


平成２年
A滑走路2,500m
〔令和７年３月撮影〕